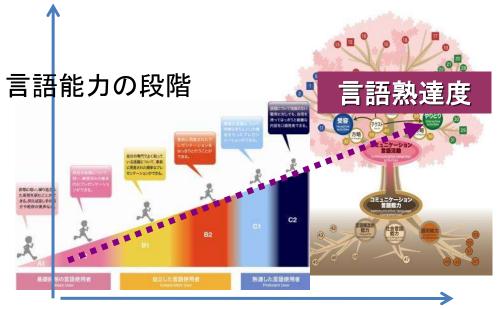
4. 「Can-do」

「Can-do」とは

CEFRの言語熟達度の考え方にもとづき、日本語の熟達度を「~できる」(「Can-do」)という形式の文で示し、「みんなの「Can-do」サイト」で提供





みんなの「Can-do けイトは、日本語の熱達度を「~できる」という形式で示し

JAPAN FOLINDATION

言語使用の拡がり

世界中のどこで日本語を学んでいても今自分が学んでいるレベルがわかる

「Can-do」の活用

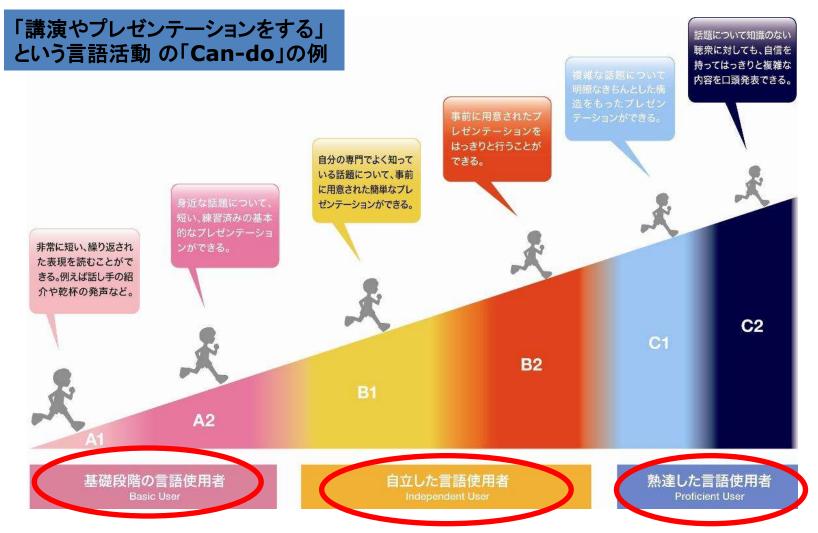
学習目標の設定や、 学習成果の評価に利用する

「Can-do」を活用することの利点は・・・

- ・ 日本語の熟達度を客観的に把握できる
- 学習の目標を明確にすることができる
- ・熟達度を学習の評価に利用できる
- 熟達度や目標を他の人や他の機関と共有できる

4.1. 6つのレベル

「Can-do」とは、日本語の熟達度を「~できる」という形式で示した文 CEFRの6つのレベル(A1,A2,B1,B2,C1,C2)に分けて提示



4.1. 6つのレベル

●6レベルの大まかな イメージをつかむには: CEFRの共通参照レベル の「全体的な尺度」



●技能別のレベルを確認 するには: CEFRの共通参照レベル の「自己評価表」

『ガイドブック』 p.9

○ 聞いたり、読んだりしたほぼ全てのものを容易に理解することができる。 ○ いろいろな話し言葉や書き言葉から得た情報をまとめ、根拠も論点も一貫した方法で再構成できる。 自然に、流暢かつ正確に自己表現ができ、非常に複雑な状況でも細かい意味の違い、区別を表現できる。 いろいろな種類の高度な内容のかなり長いテクストを理解することができ、含意を把握できる。 ○ 言葉を探しているという印象を与えずに、流暢に、また自然に自己表現ができる。 社会的、学問的、職業上の目的に応じた、柔軟な、しかも効果的な言葉遣いができる。 ○ 複雑な話題について明確で、しっかりとした構成の、詳細なテクストを作ることができる。その際テクストを構 B2 ○ お互いに緊張しないで母語話者とやり取りができるくらい流暢かつ自然である。 かなり広汎な範囲の話題について、明確で詳細なテクストを作ることができ、さまざまな選択肢について長所 や短所を示しながら自己の視点を説明できる。 仕事、学校、娯楽で普段出会うような身近な話題について、標準的な話し方であれば主要点を理解できる。 ○ その言葉が話されている地域を旅行しているときに起こりそうな、たいていの事態に対処することができる。 身近で個人的にも関心のある話題について、単純な方法で結びつけられた、脈絡のあるテクストを作ることが できる。経験、出来事、夢、希望、野心を説明し、意見や計画の理由、説明を短く述べることができる。 ○ ごく基本的な個人的情報や家族情報、買い物、近所、仕事など、直接的関係がある領域に関する、よく使われる ○ 簡単で日常的な範囲なら、身近で日常の事柄についての情報交換に応ずることができる。 ○ 自分の背景や身の回りの状況や、直接的な必要性のある領域の事柄を簡単な言葉で説明できる。 具体的な欲求を満足させるための、よく使われる日常的表現と基本的な言い回しは理解し、用いることもできる。 自分や他人を紹介することができ、どこに住んでいるか、誰と知り合いか、持ち物などの個人的情報について、 質問をしたり、答えたりできる。

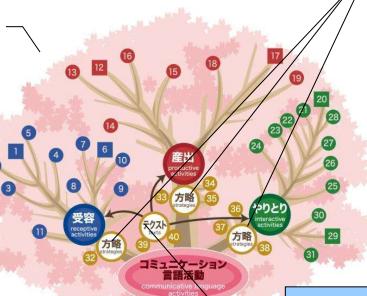
○ もし、相手がゆっくり、はっきりと話して、助け船を出してくれるなら簡単なやり取りをすることができる。

4.2. 「Can-do」の種類

活動Can-do

実社会で行う具体 的な言語活動を 例示

カテゴリー番号:1-31



方略Can-do

言語活動を効果的 に行うために言語 能力をどのように 活用したらよいか 方略を例示

カテゴリー番号:32-38

能力Can-do

言語活動を行うた めに必要な言語 能力を例示

カテゴリー番号:41-53



テクストCan-do

ノート取りや要約 など、まとめたり 言いかえたりする 言語活動を例示

カテゴリー番号:39,40

『ガイドブック』

みんなの「Can-do」サイトで提供中のCan-do



抽象的で、具体的な使用 場面をイメージしにくい

15のトピック

CEFR Can-do

活動

テクスト

方略

能力

JF Can-do

活動

日本語の使用場面を想定し 日本語での具体的な言語 活動を例示

A1, A2, B1, B2を提供中

493 Can-do



342 Can-do (2011年3月現在)

各現場で独自に作成した「Can-do」 MY Can-do